



ていじせい かぜ 定時制の旋風

2025年 5月号

発行者 教頭 松本康一

県立小野工業高等学校 定時制課程

教頭 松本 康一

若葉が目に見え鮮やかな五月を迎えました。皆さんは、新たな学年での生活を意欲的にスタートされていることと思います。

新年度が始まり一ヶ月。新しい環境、新たな学び舎での経験を通して、知的好奇心は刺激され、自身の将来に対する意識も少しずつ醸成されているのではないのでしょうか。授業や部活動、友人との交流を通して、多様な価値観に触れ、自身の可能性を広げる機会を積極的に掴み取ってください。

さて、この度、大阪・関西万博が開幕しました。この万博は、単なる博覧会という枠を超え、グローバルな課題に対する最先端の技術やアイデアが集結する、まさに「未来社会の実験場」とも言えるでしょう。高校生の皆さんにとって、この万博は、世界が抱える課題を多角的に捉え、持続可能な社会の実現に向けて主体的に考えるきっかけとなるはずです。

万博を訪れる機会があれば、積極的に様々なパビリオンに足を運び、多様な視点や価値観に触れてみてください。また、メディアを通して万博の情報に触れることも、自身の興味関心を深める良い機会となるでしょう。万博での経験や学びは、皆さんの将来の進路選択や社会貢献のあり方を考える上で、貴重な示唆を与えてくれるはずです。

高校生活は、自身の将来を深く洞察し、主体的に行動するための重要な期間です。学校は、皆さんの成長を全力でサポートします。進路に関する相談はもちろん、学校生活における悩みや不安があれば、遠慮なく先生方に声をかけてください。

皆さんの可能性は無限大です。大阪万博を機に、世界に目を向け、自身の未来を切り拓くための新たな一歩を踏み出してくれることを期待しています。

【中間考査】

いよいよ5月19日(月)から中間考査が始まります。1年生の皆さんにとっては、高校生として初めての定期考査となり、緊張とともに、少しの不安を感じている人もいるかもしれませんね。

この中間考査の結果は、皆さんの単位修得に直接影響するだけでなく、その後の進級、卒業、そして将来の進路にも大きく関わってくる重要なものです。高校生活3年間で5回実施される定期考査の、まさに最初の関門となります。ここでしっかりと結果を出すことは、今後の学習に対する自信にも繋がり、スムーズな高校生活を送る上で非常に大切です。

高得点を獲得するための秘訣は、決して特別なものではありません。それはただ一つ、「時間をかけて勉強する」ことです。当たり前のことのように聞こえるかもしれませんが、日々のアルバイトや部活動などで忙しい高校生活の中で、計画的に学習時間を確保し、集中して取り組むことは容易ではありません。しかし、定期考査は範囲が明確に定められています。時間をかければ、必ずその努力は結果に繋がります。

ご家庭の皆様も、日々の仕事でお疲れのことと存じます。それは私たち教職員も同様です。しかし、私たちは皆、皆さんの成長を心から願っています。だからこそ、皆さんも今、この中間考査に全力を尽くしてください。

真剣に取り組んだ先に広がる景色は、きっと素晴らしいものです。努力が実を結び、達成感と自信に満ちた表情で中間考査を終える皆さんを、心から楽しみにしています。

体調管理にも気をつけながら、残りの期間を有効に活用し、万全の準備で臨んでください。